

第 545 回霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会 議事録

日 時	令和 4 年 5 月 19 日 (木) 午前 10 時 22 分	
場 所	土浦市真鍋 5-17-26 土浦合同庁舎 本庁舎 第 1 会議室	
議 題	<p>議題等</p> <p>(1) わかさぎ・しらうおひき網漁業、ます網漁業の許可等に係る制限措置及び申請すべき期間並びに許可の基準について【諮問】</p> <p>(2) ワカサギ漁期前調査に伴う特別採捕許可について【報告】</p> <p>(3) 落とし網漁業の操業実績について【報告】</p> <p>(4) その他</p>	
出席委員	<p>1 番 鈴 木 幸 雄</p> <p>3 番 大 崎 匠</p> <p>6 番 薄 井 征 記</p> <p>10 番 太 田 牧 人</p> <p>12 番 中 泉 義 美</p> <p>14 番 加 納 光 樹</p>	<p>2 番 海 老 澤 武 美</p> <p>5 番 相 崎 守 弘</p> <p>7 番 鈴 木 友 子</p> <p>11 番 越 川 留 吉</p> <p>13 番 小 原 一 八</p>
欠席委員	8 番 理 崎 茂 男	
県側出席者	<p>農林水産部漁政課技師</p> <p>霞ヶ浦北浦水産事務所所長</p> <p>〃 漁業調整課長</p> <p>〃 漁業調整課技師</p> <p>〃 漁業調整課技師</p> <p>〃 振興課長</p> <p>〃 指導課長</p> <p>水産試験場内水面支場長</p> <p>〃 内水面資源部長</p> <p>〃 内水面資源部首席研究員</p>	<p>高野 萌慧</p> <p>小曾戸 誠</p> <p>益子 剛</p> <p>飯田 隼人</p> <p>鈴木 美奈</p> <p>半澤 浩美</p> <p>星野 尚重</p> <p>海老沢 良忠</p> <p>根本 隆夫</p> <p>山崎 幸夫</p>
事務局	<p>事務局長</p> <p>係長</p>	<p>岡部 勤</p> <p>中山 敦司</p>
傍聴人	なし	
議事録署名人	10 番 太 田 牧 人	11 番 越 川 留 吉

議長

1 番 鈴 木 幸 雄

会議内容

開会 午前10時22分

岡部事務局長

〔開会宣言〕

〔資料確認後、鈴木会長に挨拶を依頼〕

鈴木幸雄会長

おはようございます。

皆様にはお忙しい中、御出席いただきまして、ありがとうございます。

本日の議題は、トロール、ます網漁の許可に関する諮問及びワカサギの漁期前調査ほかとなっております。

本委員会でも、何度も話題に上っておりますが、ワカサギの資源にどう向き合っていくかという課題に加えて、最近の燃料、資材、飼料の高騰、新型コロナウイルスの動向についてもまだ警戒を続けなければならないと、漁業を取り巻く状況について一層厳しさを感じているところでございます。

関係者の皆様におかれましては、御苦勞、御心配多いことと存じますが、現場の御意見や学術的な見識を生かした、活発な御討議をお願い申し上げます。

よろしく願いいたします。

岡部事務局長

〔県に挨拶を依頼〕

小曾戸所長

水産事務所小曾戸でございます。

本日は気温も大分上がりまして、初夏を思わせるような陽気となっておりますが、委員の皆様にはお忙しいところ御出席いただきありがとうございます。

冒頭少しだけ最近の漁業を取り巻く情勢をお話させていただきますが、先ほど会長の挨拶にもあったように、コロナ禍の影響で依然として外食産業を中心に魚の消費が低迷している中で、昨今は燃料、餌料価格の高騰ということも加わってきておりまして、漁業関係においては非常に厳しい状況が続いております。

さらに新聞でも報道されましたが、昨日、原子力規制委員会から、福島第一原発のALPS（多核種除去設備、Advanced Liquid Processing System）処理水の海洋放出計画を了承したとの発表がございました。霞ヶ浦、北浦では直接的な湖水への影響はないと考えておりますが、やはり茨城県全体で風評被害の懸念というものは、残っておりまして、非常に危惧している状況でございます。

こうした非常に厳しい状況の中で、特に北浦では令和元年から不漁が続いており、ワカサギ、シラウオ、エビといった主要魚種が何も獲れないといった非常に深刻な状況、さらに、霞ヶ浦についても、ワカサギ資源は減少傾向ですので、決して予断を許さない状況にあると考えております。

こうした状況に対して私も4月に赴任してから何をすべきか、何ができるかをずっと考えてきていますが、やはり一つは霞ヶ浦のシンボルであるワカサギ資源を何とか守って回復させていこうということで、そのためすぐできることとして、産卵親魚となる冬場の親資源を少しでも残して資源の回復につなげていく、あとは産卵環境を整えていく。そういったことは、速やかに取り組んでいきたいと考えております。

今後、皆さんとも議論をさせていただきたいと考えております。

一方で、少し長期的な視点としては、やはり温暖化も含めてこれだけ霞ヶ浦北浦の漁場環境が大きく変化してきている中で、今後どのような資源を増やして利用していくのかといったことも、真剣に考えていかなければいけない時期に来ているのかなということも考えております。

そのためには、いろいろと技術的・制度的な課題等もありますので、少し時間がかかるかと思いますが、皆さんのお知恵もお借りしながら、議論を進めていければと考えております。

本日はワカサギの不漁問題について、内水面支場から調査結果の中間報告的なものもごさいます。引き続き最重要課題として県としても取り組んでいく所存でございまして、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

最後に一つ、県の取組を紹介させていただきますと、先月の4月29日から今月31日まで、茨城の地魚フェアというものを開催させていただいております。これは県内の63店舗の飲食店で県産の水産物を無償で提供させていただきまして、それをオリジナルメニューとしてお客さんに提供していただくというような取組になっております。

霞ヶ浦北浦からもコイやシラウオ、テナガエビなどを提供させていただいております。フェア参加者からも「茨城にこんな魚があるっていうのを初めて知った」といった反応も聞かれているということで、県の魚のPRにも役立っているものと考えております。

フェアの残り期間もあと2週間弱と短くなってまいりましたが、皆さんも機会があれば、ぜひ参加店の方に足を運んでいただければと思います。本日机の上に資料を用意するのを忘れてしまいましたが（委員会終了後に各委員へ資料を配布）、インターネットで「茨城の地魚フェア」と検索していただくと参加店舗も出てきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日は、わかさぎ・しらうおひき網やます網の漁業許可の

更新に係る諮問等が議題となりますので、御審議のほどお願いします。

岡部事務局長

ありがとうございました。

続きまして次第3、議長の選出ですが、当委員会の会議規程第2条第2項の規定により、会長が議長を務めることになっておりますので、鈴木会長に議長をお願いいたします。

議長（鈴木幸雄会長）

それでは、議長を務めさせていただきます。

次第4の出席委員数の報告を事務局からお願いします。

岡部事務局長

出席委員数を報告させていただきます。

本委員会の委員定数は12名でございますが、本日出席している委員は11名で、過半数を超えておりますので、漁業法第145条の規定により本日の委員会が成立していることを御報告いたします。

鈴木幸雄議長

ただ今の報告のとおり、本日の委員会は成立しております。

続きまして、次第5の議事録署名人ですが、私から指名いたします。

10番太田委員と11番越川委員にお願いします。

鈴木幸雄議長

それでは、次第6の議題に入ります。

まず、議案(1)の「わかさぎ・しらうおひき網漁業、ます網漁業の許可等に係る制限措置及び申請すべき期間並びに許可の基準について」説明をお願いします。

これは県からの諮問となります。よろしくお願いします。

中山係長

(資料1-1 諮問文を朗読)

鈴木技師

(資料1-1 から資料1-9 (プロジェクター) により説明)

鈴木幸雄議長

ただ今の説明に御意見、御質問がございましたら、お願いします。

10番太田牧人

よろしいですか。(挙手)

鈴木幸雄議長

はい、どうぞ。

10番太田牧人

わかさぎ・しらうおひき網漁業についてちょっと確認したいことがあるので、質問させていただきます。

新しい漁業法の資料などを見ますと、漁業許可について透明性を確保するとか、漁業協同組合員でないことで排除することがないようにとか、そういったこと。あとは、合理性のない新規参入障壁というのは無くしましょうという言葉が見えますが、そういう中で、改めてお聞きしたいんで

すが、本来、漁業の許可というのは営業許可なので、営業の自由という、誰でもやれるというのが重要なんでしょうが、漁業関係法令の中では水産資源保護上と漁業調整上、この二つの観点から制限措置を、逆に言うと、この二つの観点以外は制限してはまずいだろうという感じがするんですが、それはどうなんでしょうか。

益子課長

漁業調整課長の益子です。

おっしゃるとおりだとは思いますが、具体的に今回の件で、何かそういった部分があるという御質問でしょうか。

10番太田牧人

要するに手続きの透明性の中で公示して、漁業協同組合員以外の方が申請してきたときに、内容を見ると漁業者の意向調査の結果だけでやっているというのがあるので、そういう点をつかれると、委員会としても、また県としてもどう答えるのかなということで、質問したのですが。

益子課長

はい。回答します。

漁業者の許可すべき船舶の数でございますが、前々回の、私の前任の所課長の方からも、御説明させていただいておりますが、現状、トロール漁に着業したいといったような要望や相談は、漁協並びに県の方にも寄せられていないという状況でございますので、あえて枠を設けて、許可をすべき数にするというのは、ちょっと違うのかなと思っております。

漁業者として、きちんと着業したいという方に対しては、県としても、当然トロール漁ですので、必要な装備としての漁船、道具、何よりもまず習得技術などが必要となりますので、きちんとそういったものが担保されているか。その上で着業したいという相談をもちかけられた際には、改めて許可のほうを検討するというような対応を考えておりますので、一概に新規参入したい方を阻害するようなことは、考えておりません。十分な営業の見込みがあるかどうかという点も考慮する必要があるのかな、と考えております。

10番太田牧人

今回、そういう考え方があるんでしょうが、わかさぎ・しらうおひき網については、水産資源保護上、絞るということになりますし、あとは、漁業調整上、正業者である漁業協同組合員を優先するというので、その趣旨から言ってもいいのかなと思ったのですが、そういうことでよろしいんですね。水産資源保護上、漁業調整上、絞ったという。

益子課長

はい。そのとおりです。

10番太田牧人

はい、ありがとうございました。

鈴木幸雄議長 はい、それではほかに御意見、御質問ございませんか。

(委員) (特になし)

鈴木幸雄議長 特にないようですので、県への答申についてお諮りいたします。諮問の内容に異議がございませんでしょうか。

(委員) (「異議なし」の声)

鈴木幸雄議長 それでは、異議なしとのことですので、原案のとおり差し支えありません、と県に答申することといたします。

鈴木幸雄議長 続きまして、議題(2)の「ワカサギ漁期前調査に伴う特別採捕許可について」報告をお願いします。

益子課長 議題2のワカサギ漁期前調査に伴う特別採捕許可について御説明いたしますが、今年度も例年同様に、トロール漁の解禁前に、ワカサギの資源状況等を把握するための漁期前調査を霞ヶ浦、北浦それぞれにおいて、実施することとして準備を進めております。

当該調査については各漁協さんから申請いただいて、水産事務所で特別採捕許可をするものですが、毎年、具体的な計画については、協力機関として県水産試験場内水面支場の方から説明させていただいておりますので、本日も具体的な計画については、内水支から説明をお願いします。

山崎首席研究員 (資料2-1、資料2-2(プロジェクター)により説明)

鈴木幸雄議長 ただ今の説明に対して御意見、御質問ございましたらお願いいたします。

11番越川留吉 はい。(挙手)

鈴木幸雄議長 はい、どうぞ。

11番越川留吉 はい、麻生の越川ですが、今年はこちらの経験から言って、2月の人工ふ化の頃、大分寒くて、うちの組合もやっていましたが、大分卵がかえったみたいで。今年は3年ぶりに、船だまりが凍ったりなにかで、ああいう寒があったから、ワカサギにはいいんじゃないかと、こちらの漁師はみんな思っているんですが。

その点は、横ひきやっているのがいて、ちょっと話を聞いた結果、結

構ワカサギが見えるという話は聞いてます。

だから、2月の寒で人工ふ化はみんな順調にかえったけれど、餌がなくて死んじゃったのか、今の状況でどのくらいかえったというのは県の方でわからないですか。

山崎首席研究員

ワカサギがどのくらいかえったかということですが、まだ試験場の方では、そのへんは把握していないので、これからの横ひきで、どのくらい混じっているのか、いろいろ聞いて、教えていただきたいと思います。

あと、餌が少ないということについて、(餌が)少ない時には、(資源が)多くなならない、魚が多くなることが少ないということで、このくらいの餌の量で足りないかと言うと、そう言うことではないと思いますが、ただ餌が多いと、(資源が)増えることが多いと。今年の餌の量は少な目なんですけど、もともとの親の量が少なかったりするので、それで足りないかどうかというところまでは、まだ、判断できない状況です。

11番越川留吉

条件として、うちらもう何年も漁をやってるんですが、今年みたいにここ2、3年になく、寒がきたから、ワカサギがいいかなと思ってんですが。

これが、ずっと雨が降れば、だんだんワカサギも育つし、入梅が出てきた場合にまた酸欠で、死んちゃう場合もありますが。まあ、そう言うことです。

よろしくお願いします。

山崎首席研究員

はい。試験場でもなかなか見えないところもありますので、横ひきをやっている方とかいろんな漁業者の方に、状況を確認しながら、漁期前調査までにわかるところは少し、調べていきたいと思います。

11番越川留吉

はい。横ひきをやっている人に、今日、委員会があるからとちょっと聞いてきたのですが、去年よりは、いくらかかたちになっている、ワカサギが見えるということを聞きましたから。だから、今年のかえってるのかなと思ってますけど。まあ、今少し経つと、横ひきだとはいくらか出たときには、わかりますけどね。

よろしくお願いします。

鈴木幸雄議長

ほかに御意見ございませんか。

5番相崎守弘

(挙手)

鈴木幸雄議長

はい、どうぞ。

5 番相崎守弘

相崎と申します。

いくつか教えていただきたいのですが、産卵の場所ですけど、浅場の砂地のところで、というのはわかるんですが、川に上って産卵している量も結構あると思うんですが、そのへんの割合はどのぐらいなのか、わかったら、教えていただけますか。

山崎首席研究員

ワカサギが湖内の浅場とやっぱり川の方で産卵しているということで確認をしたことがあります。

ただ、川の方に、湖の親のどのぐらいの割合が行くというところまではちょっと把握しておりません。

5 番相崎守弘

あの川の方、結構、川に遡上しているという、もう昔ですけど、聞いたことがあるので、川での産卵が重要であれば、川環境の整備なども必要になってくるのかなと思うのですが。

あと、ふ化した後の分布のところに、湖全体に分散と書いてあるのですが、もし昔みたいに水草帯がかなり多くなった場合に、やはり全体になるのか、それとも、水草帯の方に比重が多くなるのか、そのへんの知見はどうなんでしょうか。

山崎首席研究員

稚魚の分布がどのくらい、均等に分布しているのか、浅瀬の水草帯の方に多くいるのかということですが、ちょっと今時点では、どのくらいの割合かというのはいわかりません。

5 番相崎守弘

やはり水草帯が、前回、前々回の議論等も含めて、水草帯の減少というのが、ワカサギの減少につながっているのではないかなという感じがしているので、そのへんの知見があると嬉しいなと思います。

あと、今は初期餌料をずっと調べていますが、このサンプルの数が湖全体の数値の代表になっているということは、あるのでしょうか。

山崎首席研究員

これは、過去にワカサギに重要な水域がどの辺かということ調べた結果がありまして、それを基にして、どこで、プランクトンを見ろという事で選んで、場所としては、土浦入りの方で3か所、高浜入りの方で3か所と、あと麻生の方で1か所ということで、全体をサンプリングしているわけではないのですが、重要と思われる場所を選んで調査をしています。北浦の方でも、均等に南から北で、4か所を選んで、サンプルをとって見えています。

5 番相崎守弘

ここに書いてあるのはその平均ということですか。

山崎首席研究員　　そうですね、霞ヶ浦の方だと7か所の平均で。北浦の方だと4か所の平均になります。

5番相崎守弘　　場所によって違いなんかはあるんですか。

山崎首席研究員　　実は場所によって、おっしゃるように、多いところと少ないところがあるので、そのへんの解析はまだできてないんですが、特定の場所で餌が多いとか、そういったこともあるかもしれませんので、これから整理していきたいと思っています。

5番相崎守弘　　あと頻度ですけど、これは、1週間に1回ですとか、1回きりのですか。

山崎首席研究員　　3月、4月に毎週1度、サンプリングしています。

5番相崎守弘　　はい。どうもありがとうございます。

鈴木幸雄議長　　ほかにございませんか。

14番加納光樹　　(挙手)

鈴木幸雄議長　　はい、どうぞ。

14番加納光樹　　はい、加納です。
今、相崎先生がおっしゃっていただいたように、流入河川の産卵場もすごい重要だと思っていまして、以前に学生が行った研究で見た限りだと、やはり大きい流入河川がある、その沖側で流下し魚がたくさん獲れているっていう傾向があるので、流入河川の産卵場を、まず調べなきゃいけないかもしれないんだけど、それを整備していくというのが一つ、ポイントだと思います。
あと、今、学生がやっている研究だと、やはり流入河川で、流下し魚が結構獲れていて、現在獲れているので。あとは、この春に北浦の岸際だとワカサギのし魚が、それなりに今回獲れていて、それが今後どうなっていくのか、やはりキーだと思いますので、私も情報交換的な感じに進めていきたいと思っていますので。以上です。

山崎首席研究員　　ありがとうございます。
試験場でも、河川の産卵場調査、過去にやっていますので、そのへんの情報と先ほど説明した情報を整理して、ぜひ御相談させていただきたいと思っています。

14番加納光樹 はい。お願いします。

鈴木幸雄議長 ほかにございますか。

(委員) (特になし)

鈴木幸雄議長 それではないので次にまいりたいと思います。
議題(3)の「落とし網漁業の操業実績について」の報告をお願いします。
す。

中山係長 (資料3(プロジェクター)により説明)

鈴木幸雄議長 ただ今の説明に御意見、御質問がございましたら、お願いします。
意見等ありませんか。

(委員) (特になし)

鈴木幸雄議長 ありませんか。
それではないようですので、次に、議題(4)の「その他」ですが、
まず、県の方から何かありますか。
なければ、あと、委員の皆様から何かあればお願いします。

(委員) (特になし)

鈴木幸雄議長 それでは、委員の皆様からの御意見も特にないようですので、本日の
委員会を終了いたします。
皆様の御協力により、円滑に議事進行できました。御協力ありがとうございました。

岡部事務局長 長時間にわたりまして、御審議いただきありがとうございました。
次回開催は7月13日を予定しております。正式に決定いたしましたら
改めて御案内申し上げますので、よろしく願いいたします。
それでは、これをもちまして委員会を閉会といたします。

閉会 午前11時24分

上記の記録の正確なことを認め署名する。

令和 年 月 日

議 長

議事録署名人
